

研究名： 血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）に生じる心筋虚血と好中球細胞外トラップ（NETs）の評価

1. 研究の目的

血栓性血小板減少性紫斑病は全身に血栓をもたらす疾患ですが、当研究主機関の過去の研究の結果、心筋虚血が致命的帰結の主因である可能性が示されました。また近年、「好中球細胞外トラップ（NETs）」という機序が発見されました。（これは、好中球が細菌などを貪食によって殺菌するのではなく、核酸を投網のように投射してとらえる、全く新しい免疫学的機序です。しかし、この機序の免疫反応は、慢性化することで血栓形成の素地になることが判明しています。）今回、研究主機関に提出された検体を用いて、心筋虚血と「好中球細胞外トラップ（NETs）」の関連性を研究すること、また初診時の臨床所見について症状との関連を評価することが研究の目的です。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて2005年4月～2023年9月までにTTPと診断され、奈良県立医科大学輸血部に検査依頼を医師より行った方。
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2028年3月
- ③ 研究方法：奈良県立医科大学血液内科学に過去に提出された検体を用いて、心筋虚血と「好中球細胞外トラップ（NETs）」の関連性を研究します。また初診時の臨床所見について、担当医へのアンケートにより症状との関連を評価します。

3. 研究に用いる情報の種類

- ① 患者様イニシャル、生年月日、性別、発症日、既往歴。
- ② 抗血栓療法の有無、胸部所見の有無、心電図所見、心臓超音波所見、トロポニン測定値。
- ③ 心筋ストレスマーカー、転帰。

また、提出済の血液検体を用いて、以下の項目を測定します。

- ① トロポニンT、トロポニンI、シトルリン化ヒストンH3、DNA/histone complex。

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、**個人情報は保守**されます。

4. 情報の公表

学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。

5. 研究実施機関

奈良県立医科大学 血液内科学／輸血部（研究実施主機関）
国立成育医療研究センター（研究協力機関）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、**2024年3月31日までに**下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 総合診療科 中尾 寛
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
電話：03-3416-0181（内線：7071）

○研究責任者：

奈良県立医科大学 血液内科学 松本 雅則